

2013 年度 第 3 回事務局会議まとめ

札幌エルプラザ 2 階会議コーナー

泉・遠藤・工藤（朱）・工藤・篠原・船木・森川（敬称略）

議題

- 1 2013 年度北海道自主夜間中学交流会「公開授業」（8 月 3 日）の反省及び第 4 回実行委員会
に向けて（次回実行委員会は 10 月 5 日（度）14：00～札幌エルプラザ）
- 2 8 月 6 日「義務教育等学習機会充実に関する議員立法」成立に向けた
超党派参加国会院内シンポジウムの報告
- 3 市議会、道義会の文教委員への挨拶まわりについて
- 4 8 月 16 日「川北小学校長、教頭と浅野さん・工藤さんとの話し合い」の報告
- 5 その他
 - (1) 次回事務局会議の日程
 - (2) その他

1 について

| | 札幌 | 旭川 | 函館 | 釧路 | | |
|-----|-----------|----|----|----|---|----------|
| ・人数 | 100 名：受講生 | 28 | 1 | 0 | 2 | <懇親会 63> |
| | スタッフ | 51 | 1 | 7 | 3 | |
| | 一般 | 7 | | | | |

人数的には、やはり他の自主夜間中学、特に旭川の受講生の出席が少ないが、全体的には成功であった。

- ・運営については、一部受付が混乱したことやアンケート（感想）を取り忘れたことを除いて、まずまずであった。特に懇親会の参加が予想より多くて係担当の宮内・吉岡さんには大変ご苦勞をかけた。
- ・公開授業については、林（国語）、竹之内（数学）さんのお二人には、ご苦勞をおかけしましたが、とてもよかったとの感想が多数であった。特に数学の教具の準備や、受講生に理解度を確かめながらの進め方、国語では、すべての受講生が「詩」を読んだ感想を一人ひとり発表できたことなど、受講生の学びが生きいきと行われていたことが話されました。
- ・国語の科目別交流会では、旭川のスタッフの教えることに固執した発言があり、それに対して、スタッフも受講生とともに学ぶことではとの発言もあった。数学では司会が受講生の感想や意見を引き出すことを優先してすすめることで、受講生の発言が多数出されていた。
- ・記録集については、全体交流、科目別交流は予定通りであるが、公開授業については、プリントの資料だけでなく、授業が見えるような流れも含めて、収録したいと追加がなされた。
- ・会計については、詳しくは第 4 回実行委員会で、記録集の発行・発送の予想支出も含めて報告されるが、ほぼ「つくる会」・札幌遠友塾の経常予算内で間に合うとのこと。釧路の受

講者 2 名の宿泊 1 万 2 千円、スタッフの交通費 1 万 5 千円、函館スタッフの交通費 1 万 5 千円、あとは運営費という内訳が報告された。

2 について

- ・国会議員 36 名（うち呼びかけ人 8 人中 7 人参加）を含む 100 名の参加で行われた。公明党の浮島議員が呼びかけ人代表となる。
- ・前回（昨年集会）ではなぜ直前に「立法案」がおろされ、今回は一昨年までの「立法案」が復活し再度ということになったのかについては、経過は明らかにされなかった。
- ・（工藤）やはり受講生の発表や会場からの体験談がとてもよかった。
（遠藤）公立の横浜の運動の報告があったが、自主に比べると苦勞の差からか、ひ弱さを感じた。
- ・今後について、関本さんと「議員連盟」をつくれぬかという話をしたが、難しそうだ。

3 について

8 月 28 日の民主党（市議会）から順次、挨拶まわりの日程が決まり次第連絡するので、できる限り参加してほしい。総会資料と、2 のシンポジウムの資料を持ってまわる。

4 について

- ・川北小学校では、浅野さん工藤さんを迎えるための案内掲示を用意する歓迎をうけた。
- ・校長、教頭、教務、学年（1 年）担当者 4 人と市教委からは渋谷（学校教育）、山谷（生涯学習）の二人が対応してくれた。4 月の段階で、もっと具体的にこちらの要望と学校の準備などを緻密に打合せておくべきであったと感じた。
- ・浅野さんは今のところ、週二回（木・金）の出席を希望している。そこで学校としては二学期以降、文字そのものの学習から、いろいろな国語教材を通しての漢字の学習になるので、ときどき書写という学習も混ざっていくが、浅野さんのための授業の組み方がなかなか難しい様子である。秋には学習発表会の準備の為の時間割も組まれることもあり苦慮している。
要望するだけでなく、こちらもなにをしたらよいか考えていかねばならぬと思う。
- ・2 学期からの出席が出来るように調整をすすめているので、連絡を待っていてくれとのこと。渋谷さんが双方の話をいろいろ繋げるサポートをよくしてくれた。
- ・メラルさんの場合は、6 年生の国語の授業に出られるときだけ、当日連絡して授業に参加出来ていると篠原さんより話される。
- ・学校の様子については、船木さんがよくわかっているので相談にのることを確認する。
- ・とにかく小学校の教職員・生徒には、浅野さんはとても好意を持って受け入れられており、継続して可能な限り多くの授業に参加できるように、サポートをしていくことを確認する。

5 について

- (1) 次回事務局会議は 9 月 16 日（木）18:30～、札幌エルプラザ 2 F ミーティングルーム
- (2) 1 年クラスの兄妹について、戸籍がなかったがやっと最近できたとのこと。この後、学歴も含め、受けられなかった義務教育をどうしていくのか、市教委との話し合いが必要になるという報告があった。
- (3) 10/5 の実行委員会の部屋は 1 週間前に予約（取れない場合は 2 F 打ち合わせコーナー）